

【2020年度/専門科目領域/専門基礎科目群/基礎医学系/旧カリキュラム】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
病理学(理学療法学科中心)		必修(理) 選択(福)	2	1	後期(集中)
担当教員	研究室	電子メールID		オフィスアワー	
成 昌 燮	D304	syosyo_sei		月曜日 15:00~17:00	
授業の目的・概要	病気の原因とそれに対する生体の反応、病気の経過・転帰などについて、各臓器に通ずる一般的な病態生理・症状などに関する基礎的知識を理解することを目的とする。画像、資料、教科書を利用して、細胞の適応、先天異常、代謝障害、循環障害、炎症、感染、免疫とアレルギー、腫瘍に関する基本概念について解説する。 Microsoft Teamsによる同時双方向型授業を行う。				
学習上の助言	教科書をしっかり読んで内容を正確に理解すること。事前に Teams 内に配布したクラス資料を印刷して参加し、講義を聞きながら、キーワードを確認してください。				
教科書	病理学(疾病のなりたちと回復の促進[1])第5版/著:大橋 健一、谷澤徹、藤原正親、柴原純二/医学書院				
参考書	特になし				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	知識: 病気の成り立ちに必要な専門用語の定義を正しく覚える。			HSU (1),HSU (2)	
②	理解: 病気の成り立ちについて総論的に理解できるようにする。			HSU (1),HSU (2)	
③					
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	事前事後学習内容・必要時間(時間)		
1	病理学の歴史 病気の内因と外因 老化と死について学習する。	同時双方向型授業	教科書を読む。プリントを復習する。	4	
2	医原病 公害病 職業がんについて学習する。	同時双方向型授業	教科書を読む。プリントを復習する。	4	
3	細胞の損傷その原因 適応現象(萎縮 肥大 過形成 化生) 細胞死(壊死 アポトーシス) 細胞と組織の変性について学習する。	同時双方向型授業	教科書を読む。プリントを復習する。	4	
4	組織の修復と創傷治癒 代謝障害の疾患について学習する。	同時双方向型授業	教科書を読む。プリントを復習する。	4	
5	局所の循環障害(浮腫 充血 うっ血 出血 血栓症)について学習する。	同時双方向型授業	教科書を読む。プリントを復習する。	4	
6	局所の循環障害(塞栓症 虚血と梗塞 側副循環による傷害)について学習する	同時双方向型授業	教科書を読む。プリントを復習する。	4	
7	全身の循環障害(ショック 高血圧症 播種性血管内凝固症候群)について学習する。	同時双方向型授業	教科書を読む。プリントを復習する。	4	
8	1~7の知識の習熟度を確認する。	Teams 中間試験	1~7の課題プリントを復習する。	4	
9	中間試験問題について解説する。炎症の概論(炎症の5主徴 原因 炎症分類)について学習する。	同時双方向型授業	教科書を読む。プリントを復習する。	4	
10	免疫のしくみ 液性免疫 細胞性免疫 能動免疫 自然免疫 免疫不全症について学習する。	同時双方向型授業	教科書を読む。プリントを復習する。	4	
11	アレルギー 自己免疫疾患 移植 拒絶反応について学習する。	同時双方向型授業	教科書を読む。プリントを復習する。	4	
12	感染症(病原体 宿主の防御機構 治療 感染症予防)について学習する。	同時双方向型授業	教科書を読む。プリントを復習する。	4	
13	先天異常と遺伝子異常について学習する。	同時双方向型授業	教科書を読む。プリントを復習する。	4	
14	腫瘍の定義と分類、発生病理、悪性腫瘍の転移(血行性 リンパ行性 播種)、診断と治療について学習する。	同時双方向型授業	教科書を読む。プリントを復習する。	4	
15	9~14の課題プリント問題を解説する。	同時双方向型授業	9~14の課題プリントで復習	4	
試	定期試験	/			

【2020 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/基礎医学系/旧カリキュラム】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		100	0	0	0	0	100
総合 力 指 標	知識・技術力	80	0	0	0	0	80
	思考・推論・創造する力	20	0	0	0	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
問題を発見・解決する力		0	0	0	0	0	0

評価のポイント			評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法
評価方法	行動目標			
試験	①	✓	学期半ばの中間試験を 50%、学期末の定期試験を 50%、合計 100% で評価する。授業中の配布資料と教科書の内容に基づいて試験問題を出題する。	テスト問題について解説する。
	②	✓		
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
レポート	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
成果発表	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
ポートフォリオ	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
その他	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			

備 考

担当教員：成 昌燮

**教員の実務経験：**外科医(消化器外科)として 14 年の臨床経験がある。

**実践的授業の内容：**臨床経験を踏まえ、病気に関する基礎知識を解説する。

Teams による同時双方向型授業を行う。授業時は通信容量が無制限の Wi-Fi 環境を推奨する。

今後の新型コロナウイルス感染症状況によって再度シラバスの変更が行われることもある。